

2012年3月期 第3四半期決算 カンファレンスコール 質疑応答(要約)

Q. 原価率が改善しているとのことだが内容は何か？それは2013年度も継続するのか？

A. 新製品等薬価の高いものが売れてプロダクトミックスが改善していることと、数量が増えているので購買コストダウン等の効果が出ている要因もあります。来期は薬価改定により薬価が下がるので、現状の原価率を維持できるかどうかは引き下げ率の水準にもよります。

Q. 在庫が2Qから2億円ぐらいいく増えていない。中間決算の説明で4月からに向けて増産体制と言っていたのに増産していないのではないのか？改定の点数が出ていないとはいえ、今の段階で今回の改定をどう評価して、どういう増産体制を取っているのか知りたい。アクセルはまだ踏んでいないのか？

A. 3Qはいつも売上が多いので、在庫の積み上げは少なくなります。今回の改定は大きな制度改定とは思いますが、今はまだ点数が決まっていないので評価の判断はしにくいです。2年前に増えた品目と同様に増えることが見込まれる品目を中心に積み上げるようにし、今後の安定供給に向けて増産していく予定です。いつでもアクセルは踏める状態にあります。

Q. 今回の改定のうち、一番期待しているものは何か？

A. 後発医薬品情報提供料10点と後発医薬品調剤加算2点が廃止となり、薬剤服用歴管理料の30点の算定要件に後発医薬品に関する情報提供が追加となりました。これにより、薬剤服用歴管理料を取得するために薬局はジェネリックの情報提供をせざるを得なくなり、情報提供を受けた患者さんがジェネリックを希望した場合に備えてジェネリックを揃えて対応しなければならなくなり、後発医薬品調剤体制加算の30%以上を取りにいかざるを得なくなる仕組みではないかと考えます。

Q. 一般名処方の推進は沢井製薬にとってポジティブなのかネガティブなのか？

A. ポジティブと見ています。品揃えが多く安定供給できるメーカーが選択されると考えています。